



## 2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年7月29日

上場会社名 虹技株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5603 URL <https://www.kogi.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 幹雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総務担当 (氏名) 谷岡 宗 TEL 079-236-3221  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切り捨て)

### 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	6,061	23.3	95	—	96	—	50	—
2022年3月期第1四半期	4,916	—	△6	—	△6	—	△20	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 436百万円 (81.0%) 2022年3月期第1四半期 241百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	15.17	—
2022年3月期第1四半期	△6.17	—

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前第1四半期連結累計期間の期首から適用しており、2022年3月期第1四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前年同四半期増減率は記載していません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	31,901	14,461	35.2	3,412.06
2022年3月期	31,247	13,783	35.3	3,329.99

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 11,221百万円 2022年3月期 11,036百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	0.00	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,280	6.2	140	524.2	80	—	20	—	6.03
通期	24,120	4.3	550	256.3	450	402.2	270	517.3	81.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	3,362,163株	2022年3月期	3,362,163株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	73,463株	2022年3月期	47,963株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	3,305,450株	2022年3月期1Q	3,314,324株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、原材料や原油価格の高騰が続くなか、ウクライナ情勢などの地政学的リスクや、新たな変異株の発生による感染再拡大のリスクなども加わり、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このようなもとで当社グループは、『C & E へのこだわり』をキーワードに、①脱炭素社会に向けて、②DX (デジタルトランスフォーメーション) の推進、③人材育成、の3点を重点課題に設定した第7次3カ年計画 (2022~2024年度) を新たにスタートさせ、より強固な経営基盤の構築と成長戦略の具現化に努めてまいりました。

このような事業環境において当社グループは、原材料高騰への対応として製品の販売価格改定を行い収益の確保に努めた結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高 60億6千1百万円 (前年同期比 23.3%増)、営業利益 9千5百万円 (前年同期 営業損失6百万円)、経常利益 9千6百万円 (前年同期 経常損失6百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益 5千万円 (前年同期 親会社株主に帰属する四半期純損失2千万円) となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① Casting Field

鋳型は、自動車業界の活況を受け、特殊鋼用鋳型の需要が好調で、売上高は、前年同期を上回りました。ロールは、輸出案件がコンテナ不足による輸送遅延等の影響で伸び悩み、売上高は、前年同期を下回りました。自動車用プレス金型鋳物は、主力カーメーカーの新規開発車種の受注が活発で、売上高は、前年同期を上回りました。大型産業機械用鋳物は、工作機械向けが好調で、売上高は、前年同期を上回りました。小型鋳物は、下水道鉄蓋や機械鋳物が好調でしたが、土木用鋳物が低迷し、売上高は、前年同期並みで推移しました。デンスパーは、主要顧客先の需要が堅調で、売上高は、前年同期を上回りました。海外事業の天津虹岡鋳鋼有限公司、南通虹岡鋳鋼有限公司は、現地自動車産業が順調に推移し、売上高は、前年同期を上回りました。

この結果、当事業の売上高は、53億3千1百万円 (前年同期比 25.6%増)、セグメント利益は、9千4百万円 (前年同期比 304.4%増) となりました。

#### ② Environment Field・環境エンジニアリング

環境装置事業は、大型案件の工事が進捗したことにより、売上高は、前年同期を上回りました。送風機は、民間設備投資が堅調で、売上高は、前年同期を上回りました。環境・省エネ商品のトランスバクターは、半導体向けが好調で、売上高は、前年同期を上回りました。

この結果、当事業の売上高は、4億7千7百万円 (前年同期比 14.3%増)、セグメント損失 8百万円 (前年同期 セグメント損失1千6百万円) となりました。

#### ③ Environment Field・機能材料

KCカーボンセラミックスは、電子電機業界の活況を受け、売上高は、前年同期を上回りました。KCメタルファイバーは、自動車向け摩擦材の需要が低迷し、売上高は、前年同期を下回りました。

この結果、当事業の売上高は、2億4千4百万円 (前年同期比 1.4%減)、セグメント利益 2千万円 (前年同期比 53.8%増) となりました。

#### ④ その他の事業

当事業の売上高は、7百万円 (前年同期比 25.3%増)、セグメント利益 0百万円 (前年同期 セグメント損失1百万円) となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、194億3千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億4千7百万円増加いたしました。これは、主として原材料及び貯蔵品が2億7千1百万円、商品及び製品が1億7千8百万円増加したことなどによります。

固定資産は、124億6千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億6百万円増加いたしました。これは、主として有形固定資産が2億8千8百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は、319億1百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億5千3百万円増加いたしました。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、142億9百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億1千6百万円増加いたしました。これは、主として短期借入金が4億2千8百万円増加したことなどによります。

固定負債は、32億3千万円となり、前連結会計年度末に比べ3億4千万円減少いたしました。これは、主として長期借入金が2億6千8百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、174億3千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ2千4百万円減少いたしました。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、144億6千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億7千7百万円増加いたしました。これは、主として非支配株主持分が4億9千2百万円、為替換算調整勘定が1億8千9百万円増加したことなどによります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の35.3%から35.2%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、2022年5月10日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,123	3,135
受取手形、売掛金及び契約資産	9,670	9,600
電子記録債権	2,524	2,276
商品及び製品	1,177	1,355
仕掛品	1,232	1,392
原材料及び貯蔵品	1,248	1,520
その他	109	153
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	19,085	19,433
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,968	3,103
機械装置及び運搬具(純額)	4,229	4,371
土地	1,220	1,220
その他(純額)	1,425	1,437
有形固定資産合計	9,844	10,133
無形固定資産	255	272
投資その他の資産		
投資有価証券	1,990	1,990
長期貸付金	1	0
繰延税金資産	0	0
その他	69	69
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	2,061	2,061
固定資産合計	12,161	12,467
資産合計	31,247	31,901

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,239	4,447
短期借入金	6,370	6,799
未払法人税等	58	13
賞与引当金	255	79
その他	2,968	2,869
流動負債合計	13,892	14,209
固定負債		
長期借入金	2,465	2,196
繰延税金負債	302	324
退職給付に係る負債	478	393
その他	323	315
固定負債合計	3,570	3,230
負債合計	17,463	17,439
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,002	2,002
資本剰余金	602	602
利益剰余金	7,308	7,325
自己株式	△55	△80
株主資本合計	9,858	9,849
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	682	690
繰延ヘッジ損益	△5	△8
為替換算調整勘定	463	652
退職給付に係る調整累計額	38	37
その他の包括利益累計額合計	1,178	1,371
非支配株主持分	2,747	3,240
純資産合計	13,783	14,461
負債純資産合計	31,247	31,901

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	4,916	6,061
売上原価	4,302	5,258
売上総利益	614	802
販売費及び一般管理費	620	706
営業利益又は営業損失(△)	△6	95
営業外収益		
受取利息及び配当金	26	44
その他	15	7
営業外収益合計	42	52
営業外費用		
支払利息	29	37
その他	12	14
営業外費用合計	42	51
経常利益又は経常損失(△)	△6	96
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△6	96
法人税、住民税及び事業税	12	4
法人税等調整額	9	30
法人税等合計	21	34
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△28	61
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△8	11
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△20	50



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△28	61
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△43	7
繰延ヘッジ損益	△0	△2
為替換算調整勘定	311	371
退職給付に係る調整額	1	△1
その他の包括利益合計	269	374
四半期包括利益	241	436
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	96	243
非支配株主に係る四半期包括利益	144	193

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I. 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	Casting Field	Environment Field・環境 エンジニア リング	Environment Field・機能 材料	計				
売上高								
鋳物	4,202	—	—	4,202	—	4,202	—	4,202
環境エンジニアリング・環境	—	178	—	178	—	178	—	178
環境エンジニアリング・機械	—	215	—	215	—	215	—	215
機能材料	—	—	247	247	—	247	—	247
ソーラー	—	23	—	23	—	23	—	23
その他	41	—	—	41	6	47	—	47
顧客との契約から生じる収益	4,244	417	247	4,910	6	4,916	—	4,916
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	4,244	417	247	4,910	6	4,916	—	4,916
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	0	—	0	—	0	△0	—
計	4,244	417	247	4,910	6	4,916	△0	4,916
セグメント利益又は損失(△)	23	△16	13	20	△1	18	△25	△6

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△25百万円には、報告セグメント及びその他に帰属しない本社管理部門にかかる費用が△45百万円、営業外収益が32百万円、営業外費用が△12百万円含まれております。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。

## Ⅱ. 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	Casting Field	Environment Field・環境 エンジニア リング	Environment Field・機能 材料	計				
売上高								
鋳物	5,288	—	—	5,288	—	5,288	—	5,288
環境エンジニアリング・環境	—	183	—	183	—	183	—	183
環境エンジニアリング・機械	—	268	—	268	—	268	—	268
機能材料	—	—	244	244	—	244	—	244
ソーラー	—	25	—	25	—	25	—	25
その他	42	—	—	42	7	50	—	50
顧客との契約から生じる収益	5,331	477	244	6,053	7	6,061	—	6,061
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	5,331	477	244	6,053	7	6,061	—	6,061
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	0	—	0	—	0	△0	—
計	5,331	478	244	6,054	7	6,061	△0	6,061
セグメント利益又は損失(△)	94	△8	20	107	0	107	△11	96

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△11百万円には、報告セグメント及びその他に帰属しない本社管理部門にかかる費用が△48百万円、営業外収益が52百万円、営業外費用が△14百万円含まれております。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項  
該当事項はありません。